

三原市民と市長の「みらいトーク」(第31回) 実施結果

- 1 日 時 令和5年12月26日(火曜日) 18時00分から19時30分
- 2 場 所 三原市役所 4階 第一応接室
- 3 テーマ 三原市ふるさと納税について
- 4 参加者 ふるさと納税返礼品事業者(8名)、岡田市長
- 5 内 容 各項目について市長が質問し、参加者と意見交換

1 返礼品事業者として、感じていることや意識していること

【参加者から】

- ・返礼品の登録数が増えれば、寄附者の反応も増えると感じている。
- ・登録数を増やす場合、寄附者が迷わないよう、価格帯が被らないように意識している。
- ・体験型の返礼品は、1人や2人でも利用してもらえることを念頭に考えている。
- ・返礼品は、人気のあるものや有名なものが選ばれると思う。例えば米、肉、全国的に認知度が高い「八天堂のくりむパン」など。
- ・農作物は、生産者の高齢化と気候の影響で生産量を増やせない点で困っている。品種を増やしたり、商品紹介文を工夫したりして、売上を維持するよう心掛けている。
- ・自社の商品で人気に差がある。選ばれにくい商品は何が課題か検討し工夫したい。

2 ふるさと納税のPRについて

【参加者から】

- ・市民が三原市ふるさと納税の返礼品を知り、身内などにアピールしてくれたらよい。
そのため、インターネット上だけでなく、カタログのような紙媒体があればよいのでは。
- ・人気の返礼品だけでなく、埋もれがちな返礼品も満遍なく見れる専用サイトがあればよい。
- ・ポータルサイトの商品紹介ページに改善の余地があるのでは。
- ・返礼品の紹介ページは以前より改善されていると感じる。季節感や地域の特色(例えば瀬戸内のレモンなど)を伝えることが効果的だと感じた。
- ・返礼品の画像は大事であり、実際に画像を見て、この色の返礼品(革製品)を作って欲しいとオーダーがあった。
- ・あまり選ばれない返礼品があるが、もしかするとメインの画像では返礼品がわかりづらいのが原因かもしれないため、返礼品の魅せ方の工夫は研究したい。
- ・市外に向けたSNSでの情報発信は効果的である。フォロワーの多い個人や企業のSNSで配信し、「三原市ふるさと納税頑張ってますよ」とアピールする。
- ・市内外に向けての発信力という点では、他自治体より弱いと感じる。SNSでの情報発信とともにポスター等のアナログな方法も重要ではないか。
- ・寄附が多い年末以外にも、年間を通じてこまめに情報発信していくのもよいのでは。寄附は通年いつでもできるもので、他自治体があまりPRしていない時期をチャンスと考える。
- ・三原市の広報誌で周知するのはどうか。一方で、市内向けの発行物なので周知に適していなかったり、それを見た市民による市外への寄附が増えてしまう懸念がある。
- ・返礼品発送時の同封物について、ふるさと納税をPRするリーフレットや手書きのお礼状、自社の活動を紹介するパンフレット等を同梱している。他自治体の事例だが、寄附の活用方法を紹

介するものもよいのではないか。

- ・三原市ふるさと納税で統一したお礼状があり、そこに事業者からのお礼が書き込めたらありがたい。
- ・返礼品に八天堂のくりむパンを選んだ寄附者に対して、八天堂本社が三原市にあるなら行ってみたいとか、三原の観光情報が刺さるのではないか。
- ・費用があれば、テレビCMを流してはどうか。
- ・銀座にある広島県のアンテナショップや、市外の百貨店で、試食を提供しながらPRするイベントを開催してはどうか。

3 新たな返礼品について

【参加者から】

- ・宿泊付きの人間ドックやPET検査を返礼品にしてはどうか。
- ・グルテンフリーをテーマに、こんにゃくマンナン、米粉、米粉めん、米粉パンとのコラボレーションを模索したい。アレルギー対応のグルテンフリーの米粉パンはいま需要がある。
- ・頒布会などもよいが、3か月定期便で各月色んな事業者から品が届くのはどうか。
- ・コーヒー豆が3か月連続で別事業者から届く定期便や、桜南食品のしょうが湯と白竜水のセット、島たまごと実広醤油とお米のセットはどうか。
- ・寄附者の年齢層や在住地域の傾向がわかれば、そうした寄附者に向けた返礼品開発ができるのではないか。
- ・レモン味など好みが分かれるものでも、コアな寄附者に好まれるような返礼品を模索したい。
- ・食べ物×雑貨でコラボレーションし、付加価値を高めるのはどうか。「みかん×かっこいい木製のみかん箱」や「広島チョコラ×おしゃれな革製の入れ物」など。

4 市長から

- ・三原市ふるさと納税の各ポータルサイトの返礼品紹介ページについては、改善の余地があると感じている。画像や紹介文を工夫し、魅力がより伝わるようにしていきたいので、お気づきの点はどんどん市にお伝えいただきたい。
- ・返礼品について、セット商品や付加価値を高めるアイデアをいただいた。市役所や事業者間で連携を深め、魅力的な返礼品の開発を進めていきたい。
- ・三原市民が三原市のふるさと納税について認識することは大変重要だと思っている。
- ・市と事業者の皆さん双方のSNSなどで、市内外に同時多発的に情報発信し、相乗効果を狙いたいので、ご協力いただきたい。
- ・ポスター・リーフレット・PRカードなどを有効に活用し、返礼品送付時に同梱する統一のお礼状で、事業者の皆さんもお礼を書き込めるようなものを検討したい。観光情報ともリンクさせ、三原市に訪問してもらいファンの獲得に繋げたい。
- ・ふるさと納税が増やすことにより、返礼品事業者の売上が伸び、税収も増加し、市民サービスの向上に繋げることができる。三方よしのこの取組を推進していきたいと思っているので、今後ご協力をお願いしたい。